

## 第 71 回国民体育大会神奈川県予選会 開催要項

1. 名 称 : 第 71 回国民体育大会神奈川県予選会
2. 主 催 : 神奈川県アイスホッケー連盟
3. 主 管 : 競技委員会
4. 大 会 役 員 :
- |       |       |       |        |        |       |
|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 会 長   | 藤木 幸太 |       |        |        |       |
| 大会委員長 | 金子 精司 |       |        |        |       |
| 競技委員長 | 伊藤 一  |       |        |        |       |
| 大会役員  | 飯田 松男 | 石田 淳  | 石山 卓男  | 猪俣 信行  | 岩崎 伸一 |
|       | 岡野 宏  | 柏木 満  | 菊地 拓海  | 佐々木 暁  | 三辺 武幸 |
|       | 谷口 泰久 | 中嶋 寛  | 西村 三雄  | 長谷川 宜彦 | 松田 圭介 |
|       | 水原 健司 | 宮本 淳平 | 吉田 見登留 |        |       |
- 
- |          |              |       |        |       |       |
|----------|--------------|-------|--------|-------|-------|
| レフェリー委員長 | 吉田 見登留       |       |        |       |       |
| レフェリー団   | 有田 典生        | 安藤 仁詩 | 生島 喜大  | 石山 卓男 | 奥山 美紀 |
|          | 鍵和田 和明       | 鎌田 司  | 河久保 昌利 | 坂田 敏博 | 佐々木 暁 |
|          | 佐藤 茂之        | 須田 瑞季 | 高松 正樹  | 立花 勝彦 | 田中 哲治 |
|          | 田中 俊久        | 戸高 英明 | 中島 透   | 中村 秀岳 | 中山 茂  |
|          | 生田目 健次       | 橋本 昌伸 | 長谷川 宜彦 | 畑田 進  | 畑中 和幸 |
|          | 平田 三元        | 廣瀬 健  | 福田 典夫  | 八重川 隆 | 山本 秀彦 |
|          | 吉田 俊一        | 米山 志保 |        |       |       |
|          | 他、日ア連公認レフェリー |       |        |       |       |
- 
- |                |  |
|----------------|--|
| 大会医師<br>救急指定病院 | 三辺 武幸(県連医事委員長)<br>重傷の場合は 119 番すること<br>軽傷の場合:(24 時間受付・年中無休)<br>横浜市救急医療情報センター TEL 045(201)1199 |
|----------------|--|
5. 会 期 : 2015 年 10 月 10 日 ~ 12 月 12 日
6. 会 場 : 新横浜スケートセンター
7. 参 加 資 格 : 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHF と呼ぶ)【一般】に 2015 年度登録をしている 1 部所属チーム及び選手と役員。(第 62 回神奈川選手権兼第 70 回国民体育大会予選会の結果により入れ替えた 1 部所属チーム)
- 注 1 大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により、2015 年 9 月 30 日までに県連宛到達したものを有効とし、大会出場を認める。
- 注 2 大会参加費未納及び監督会議欠席チームは本大会については失格とする。失格となったチームは第 63 回神奈川選手権に参加資格を有しない。
- 注 3 県内【一般】登録チームに所属する選手について、本大会に出場した選手は第 63 回神奈川選手権終了まで、県内チーム間の移籍は原則認めない。
- 注 4 審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は、たとえ他チームに移籍をしても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
- 注 5 大会参加申し込み以降、棄権、失格、出場停止、試合放棄などで予定された試合を行えなくなったチームは参加費に加え当該試合リンク代の 1/2 を大会会計に補填すること。
- 注 6 上記に於けるリンク利用権は、勝利チームが有する。  
不参加の連絡は競技委員会まで連絡すること。

8. 国体代表選手選抜方法：  
この大会に出場できても国体の参加資格にあてはまらない選手は、県代表チームに選抜されない。  
国体選手選考委員会を設置し、本大会及びトライアウトの結果により県代表選手を決定する。
9. 参加チーム：  
【1部チーム】 セントラルクリニック・サンダーバード、ケッターズ、チームハセガワ B、荒鷲クラブ、神奈川メープルリーフ A、NEC-A、Mavericks、富士通 RED BULLETS
10. 参加費： ¥130,000  
上記参加費を下記口座へ 9月30日までに振り込むこと。なお、期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めないこととし、県連審議委員会により処分を科する。  
振込先 横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936  
神奈川県アイスホッケー連盟 会計 長谷川 宜彦
11. 競技規則： 神奈川県アイスホッケー選手権の定めるローカル・ルールを除いては原則として IIHF 公式規則で行う。  
補助規則（ローカル・ルール）：  
a. 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは 0 対 15)とする。  
この場合、審議委員会により罰則を科す。  
b. 出場資格があるにも拘らずオールメンバー表に記載されていない選手が出場した場合、関係した得点は無効とする。ペナルティは課さない。当該選手は残り時間出場できない。  
c. ベンチには、GK2名・プレーヤー20名の計22名、役員6名迄入ることができる。  
d. 試合開始整列時にプレーヤー8名、役員1名を最低人数とし、これに満たないチームは試合放棄とみなして不戦敗(スコアは 0-15)とする。  
また試合中にけがやペナルティなどで、正規の人数をリンク上にそろえることができなくなったチームはその時点で試合放棄とする。  
e. ユニホームを着用しない役員名を当該試合のメンバー表に記載し、試合開始から終了までの間、常時ベンチ入りさせること。  
f. ベンチは試合日程表の左側チームが本部席より見て左側とし、仮ホームチームとしパケットスによりホームを決定する。  
g. 1974年12月31日以降に生まれた選手はバイザーを着用し、マウスガードを使用しなければならない。バイザーは、目及び鼻が全て覆われるものでなければならない。(IIHF ルール 304c1.2)  
該当選手は、「V」の表示をプログラムに明記する。  
バイザーは無色透明なものとし、それ以外は使用出来ない。  
h. 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。  
i. 選手は背中に加え、両袖にも番号(概ね高さ 10cm)がついたジャージを着用しなければならない。  
j. 血液感染予防のため、各チーム予備のユニホームを用意する事が望まれる。  
K. ユニホームの色が同系色で、ペナルティのコールを誤る可能性があるとしてレフェリーが判断した場合、レフェリーの指示に従い、本部席より見て右側のチームがベストを着用する。  
l. 3回目のペナルティを犯した選手はその試合の残り時間をゲームアウトとする。  
ペナルティのカウントは、以下のとおりとする。  
①INTRF、HOOK、TRIP、SLASH などの単独のマイナー(2分)は、それぞれカ

ウント 1。

②HI-ST(2+2 分)、キーパーチャージ CHARG(2+2 分)、ROUGH(2+2 分)などのダブルマイナーは、カウント 2。

③CHE-B、CHE-H などのマイナー+自動的な MISC(2+10 分)は、カウント 1。  
(MISC の 10 分は自動的に付加されるものだから)

④ABUSE、UN-SP、EQ-INF などの MISC(10 分)は、カウント 1。

⑤ベンチマイナーはカウントしない。(PB に入る履行者は本人のペナルティではないため)

m. ヘルメットは、ヘルメットの下端と眉毛との間に指 1 本以上のゆとりがないように着用しなければならない。また、あごひもとあごの間のゆとりも、指 1 本分のみとする。(IIHF ルール 223c)

n. 氷上にいるキャプテン、2 名以内のキャプテン代行のみが、ルール解釈に関する問題について、レフェリーと話をすることができる。(IIHF ルール 201c)  
キャプテンまたはキャプテン代行が氷上にいない場合、いずれもレフェリーからの要請がない限り、レフェリーと討議するためにベンチから氷上に出ることはできない。

12. 競技時間 :

a. 練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、インターバル 3 分で行う。ただし、貸し切り時間内に試合終了しない事が予想される場合は、SV の判断により第 3 ピリオドの試合時間をロス込みにする場合がある。第 3 ピリオド終了時同点の場合は、GWS(サドンデス方式)にて勝敗を決定する。

b. タイムアウトは無し。

c. オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。

13. 順位 :

a. トーナメント戦とし、各トーナメントの勝者同士、敗者同士での対戦を行い、全てのチームに順位をつける。

b. トーナメント組み合わせは、1 位対 8 位、2 位対 7 位、3 位対 6 位、4 位対 5 位とする。なお、1 位と 2 位は逆のブロックに配置する。

14. 第 4 回日ア連会長杯(仮称)参加資格:

a. 1 部リーグ優勝チームには 2016 年に開催される第 4 回日ア連会長杯(仮称)の参加資格を付与する。

b. 1 部リーグ 2 位及び 3 位チームには 2016 年に開催される第 4 回日ア連会長杯関東ブロック予選会(仮称)の参加資格を付与する。

15. オフィシャル : オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。オフィシャル当番はスケート靴持参(4 名以上)で試合開始 30 分前に集合し、準備を開始すること。オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。

また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。

16. レフェリー : 全ての試合についてレフェリーは 3 人制で行うことを原則とする。

17. スーパーバイザー :

a. ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームにつき 1 名ずつ、スーパーバイザーを置く。

b. スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシ

